

明治・大正・昭和——激動の1世紀が今よみがえる!!

目で見る

前橋の100年

前橋市・富士見村

監修 = 南雲栄治 (群馬大学地理学会会長)

親から子へ、子から孫へ
伝えよう、ふるさとの記録

2006年12月中旬
待望の発刊!
好評予約受付中

1500部限定 本書は再版いたしません。
品切れの節はご容赦ください。



▲宮城幼稚園の運動会 (前橋市〈宮城村〉・昭和42年頃) 同幼稚園の開園は昭和35年。それまでは宮城村には幼児教育機関がなく、多くの人びとの尽力を得てようやく開園にこぎつけた。競技中の園児たちを、大勢の保護者が見守っている。

▲利根橋 (前橋市・大正後期~昭和初期) 石倉方面から見たところ。この橋は、明治32年に旧国道17号に架けられた群馬県初の鉄橋。昭和22年から24年にかけて立て続けに水害に遭って橋脚が傾いたため、同30年代に撤去された。



▲大沼のほとりにて (富士見村・昭和初期) 大沼は赤城山の火口原にあるカルデラ湖。夏でも涼しいため、当時から避暑客も多かった。湖面にボートを浮かべて楽しむほか、現在はワカサギ釣りも人気を集めている。

本書の
1頁の大きさは
このチラシと同じ!!
超大型豪華本
です!

★初公開写真が続々登場!



▲赤穂浪士の仮装 (前橋市〈大胡町〉・昭和42年) 昭和22年のカスリン台風で、大胡町は大水害に見舞われた。この出来事を忘れないようにと、この年、「水害20周年記念」として赤穂浪士の仮装をして町内を回った。



▲月田のささら (前橋市〈柏川村〉・昭和48年頃) 近戸神社の祭礼を、地元の人びとは「月田のささら」と呼ぶ。境内で踊られる「ささら」は神社に奉納する獅子舞に由来しており、600年以上の伝統がある。

造本・体裁

- B4判・大型上製本
- 豪華保存版
- 総頁148頁
- 収録写真350点
- 美麗カラー口絵付



限定出版のため、満
数にならないうちに、
お早めにご予約を!

ご予約特価: 9,975円
(本体9,500円・刊行前日まで)

定 価: 11,550円
(本体11,000円・刊行当日より)

B4判の大型本。大きく迫力ある写真と
わかりやすい解説が特徴です。

郷土出版社

